

2 個別事業評価調書

団体名：与謝野町

事業名		排水路整備事業					
事業の概要		<p>多発する集中豪雨による水害防止・環境衛生の向上のため、計画的に排水路の整備を実施し、町民の安心安全な生活に寄与するものである。浸水区域の解消はもとより、有蓋側溝とすることにより道路として使用する部分を広げ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図る。</p> <p><実施箇所> 森本線、解谷線、平野寺線、二ツ岩峠線、四辻中縄線 庄谷水路、畑中水路、一条水路、上鉢屋敷水路(測量)</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	4,558	本年度事業費	4,558	交付金交付額	1,833
事業評価	事業の必要性	平成16年の台風23号による甚大な被害に見舞われた本町においては、近年も集中豪雨による被害が多発しており、排水路の整備については各地域とも強い要望がある。行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期に排水路の整備を実施することとしている。					
	事業の有効性	本事業の実施により、浸水区域を解消し、災害を未然に防止することで、大雨時における住民生活の安定、安全が図られる。					
	事業の効率性	排水路の整備により環境衛生の向上が期待でき、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果 水路の整備については各地域とも強い要望があり、町としても大雨の際の家屋の浸水防止・環境衛生の向上のため、年次計画により排水路の整備を実施することとしており、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。					
4 広域的波及成果 浸水区域の解消のほか、有蓋側溝とすることにより道路を広く使うことができ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。							
5 行財政改革に資する成果 大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害を無くしたり軽減できたりし、加えて被害後の復旧等に係る費用の削減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より能率的に効果を発揮するものである。また、水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の削減にも資する。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。